

ウェルBOX-右京

第21号
平成23年11月

発行/社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会

京都市右京区ボランティアセンター

京都市右京区太秦森ヶ前町22-3 TEL 075-865-8567/FAX 075-865-8569

発行人/原 健 編集人/玉置 すみゑ

URL ; <http://www.ukyoku-syakyo.net> / E-mail ; info@ukyoku-syakyo.net



みんなが顔見知り！/御室学区サンデーモーニング

「人はやっぱりひとりじゃ生きられない」

昨年から京都新聞で掲載された「ひとりじゃないよ」は多くの反響を呼びました。平成23年9月3日開催の右京区社会福祉大会(区社協法人化20周年・右京区制80周年記念)第2部「右京区福祉のまちづくり学校」では、京都新聞「ひとりじゃないよ」取材班の代表の大西さんと、立命館大学乾教授による対談を行いました。

個人・個性を求める私たちの社会はいつの間にか孤立、孤独が広がっています。しかし、そうした中で現状から一歩踏み出し、そっと手をつなごうとする事例が紹介されました。

「ひとりじゃないよ」の連載を通して見えてきたものは何なのか。これからの地域福祉活動のヒントとなる「希望」をお話しいただきました。



孤立・孤独の現場をレポートする大西氏

特集

京都新聞

「ひとりじゃないよ」 からみる福祉のまちづくり

目次

- 特集記事(右京区社会福祉大会より)..... 1~3
- 災害に伴う被災地への支援 4
- 学区社協重点活動、ホームページ紹介..... 5
- 22年度賛助会費報告、うずまさ学園紹介..... 6
- 共同募金活動紹介、22年度事業決算報告..... 7
- お知らせコーナー(福祉情報・講座案内他)..... 8

「ひとりじゃないよ」が見たもの

1 急速に広がる孤独・孤立 2 現場で立ち向かう人々 3 現行の制度で解決できない

京都新聞 編集局 社会報道部 社会担当部長 大西 祐資 氏
立命館大学産業社会学部 教授 乾 亨 氏

1 急速に広がる孤立 「学生マンションに高齢者」

取材すると孤立が広がっていました。ある記事では、生活保護受給者がワンルームマンションに流れ着く例を取り上げました。生活保護者は安定的に家賃がとれ、高齢者も住環境が良くなる。一見、良いことのように見えますが、知り合いが近くにいない。オートロックで民生委員が辿りつけない。孤独死、一歩手前で近隣からの通報があり一命を取り留めることもありました。自宅の周りに兄弟がいるのに高齢夫婦が亡くなった例もありました。

2 孤立に現場で立ち向かう人々 「銭湯難民に送迎をしたい」

家風呂がなく、銭湯が潰れお風呂に行くのに一時間かかる高齢者の例では、銭湯の経営者が、困ったお年寄りを助けたい思いで送迎を始めようとしています。

どうやって困っている高齢者を見つけるのか。地域包括支援センターに相談した結果、センターが入浴に困っているお年寄りをリストアップすることに成功しますが、個人情報の関係で経営者に情

報を渡すことはできませんでした。しかし、主人公はそこで終わらずに工夫されました。地域包括支援センターが送迎の集合場所と時間を対象者に伝え、お風呂の経営者が迎えに行くことで、個人の情報も渡さずに送迎が実現しました。諦めずに少し努力することで困っている人を助けることができた例です。

連載に共鳴した人、反対意見などたくさんの反響が

連載がスタートして、すぐにメール、ファックス、手紙をいただきました。毎日驚くほどの反響でした。その中で、2つのことが読み取れました。手紙の中には、「私もやりたい。何かからすればいいか」との声が多くありました。

一方、根強い批判も一部ありました。共通しているのは自己責任論です。生活保護に対する批判もありました。

半年間の連載を経て、多くの読者が自ら考えて行動を起こしてもらっています。ある行政書士は無料で相談を始められ、若い大学生が、小さいことだけど近所のお年寄りに声をかけることからはじめ

た等の手紙を頂きました。

3 現行制度や今の仕組み では解決できないのか

地域包括支援センターの人員が少なく、うまく機能できていないことも取り上げました。地域包括支援センターには、包括的支援、介護予防の支援の役割がありますが、介護予防に追われ、大切な包括的支援が十分にできずに職員の方も困っている現状を感じました。

民生委員の制度も難しくなっていると感じました。なり手がみつからず困られているとお聞きしています。

連載「ひとりじゃないよ」 にはたくさんのメッセージ を込めました

人はやっぱりひとりじゃ生きられない。個性・個人を尊重しながら、お互いが困った時にはそっと手をつなぎたいという願いでした。連載は終わりましたが、これからも、困った時にそっと手をつなげるように色々な記事を出していきたいと思っています。



会場から熱心な質問もありました。

会場から

なぜ孤立・孤独がひろがったのですか？

大西) 孤独・孤立は複合的な理由だと思います。

家族・地域のつながりが薄くなった。公共の制度が財政難で薄くなった。経済的貧困も原因。権利意識が高くなって義務が薄くなった。義務を果たすことも大切だと思います。

乾) いろんな意味で、面倒見てもらえる社会になってきたと思います。

困ったら病院、警察、消防と一人でも生きられると思われていましたが、阪神大震災以降多くの方が「無理やった…」と気付いたのではないのでしょうか。

「ほっといて」という高齢者はどうすればよいですか？

大西) 取材をする中で援助拒否は

認識させられました。現場の援助者は拒まれても行かれています。「なんらかのきっかけでこちら側に来ることがある」と言われました。とても大事なことだと思いました。

乾) 皆がしっかりして、自立して頑張っていく社会は理屈ではそうかもしれませんが、人の甘えを一定認めることが必要ですね。厳しくしながら、支える。仲間としての感覚をどう紡ぎだすかだと思います。

行政の責任をどう思いますか？

乾) 無自覚に皆の汗が必要ですよ。というのは違うと思っています。

税金を使うと、キメの細かさとは無縁になってしまいます。十分に提供できないときに、上手い組み合わせを作っていくのが行政の役割だと思います。

大西) 行政もお金がそんなに自由につかえないと思います。「困っ



「希望の物語」は活動の原動力に。乾先生

ている方がいればなんとか誰かがしよう」と、一人ずつが、新しいことをやっていく中で、行政・政治が動くことが大切だと思います。

記事への批判に対してどう思いますか？

大西) 記事は「綺麗に書きすぎている」「実情を映していない」とヘルパーの方々から厳しい批判を受けたこともありました。記事では支援に絞って良い点に光をあてました。

連載を通して、「やっぱり人は一人では生きていけない。だから少し皆が努力して良い社会にしていきたい。手を差し伸べていける社会にしたい」と考えています。

厳しい実情の問題については、また別の機会に捉えていきたいと考えています。

乾) 希望の物語を伝える大切さもあると思います。危機感だけだとつらくなってしまいますね。危機感と夢があることが活動の原動力になります。連載「ひとりじゃないよ」は危機感と夢を伝えたからこそ、多くの方を引きつけたと思います。刺激に満ちたお話しをいただけたと思います。本日はありがとうございました。

京都新聞「ひとりじゃないよ」

平成22年11月からスタートした京都新聞の連載記事。「戦後、私たちが尊重してきた個性・個人を重視する社会は、孤立・孤独があふれる社会となっており、それで良いのか、社会全体で考えていきたい」という視点で描かれています。

災害に伴う被災地への支援

～被災地に右京区民の思いが届きますように～

東日本大震災義援金

東日本大震災発生直後より、多くの皆様から「東日本大震災義援金」をお寄せいただき、誠に有難うございました。右京区社協に下記の皆様方より寄せられました義援金は6,982,732円となり、京都市を通じて被災地と、仙台市社会福祉協議会にお届けしました。

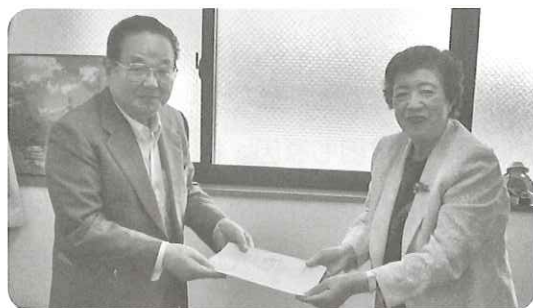
太秦学区、嵯峨野学区、葛野自治会連合会、梅津社協、葛野老人クラブ北寿会、陽だまりサロン、長谷川善樹、手をつなぐ育成会、高雄社協、脇下繁美、NPO法人加音、五本松クラブ、京北ボランティア連絡協議会、太秦福祉推進会（敬称略）他多数の方々の温かいご支援・ご協力に深く感謝いたしますとともに、東日本大震災により犠牲になられた皆様のご冥福を心よりお祈りします。また被災地の一日も早い復興を願っています。



太秦学区



嵯峨野学区



葛野学区

被災地の災害ボランティアセンター運営協力 (宮城県仙台市・和歌山県田辺市)

今年は3月に東日本大震災、9月には台風12号による紀伊半島豪雨災害が発生しました。右京区社協においては、上記の義援金の対応の他、被災地（宮城県仙台市・和歌山県田辺市）の災害ボランティアセンターへ職員を派遣しています。仙台市の沿岸部は報道されているとおりの痛ましい状況でしたが、センターの運営については職員だけでなく地元の地理に明るい地元住民のボランティアさんが携わっており、スムーズかつ組織的に運営が行われていました。また田辺市本宮地区（山間地）の方では、ニーズ受付の電話があると職員がお宅へ伺い、被災状況、必要なボランティアの数、必要資材等を丁寧に確認する方法が取られていたのが印象的でした。今回、町の規模に応じて適切な運営方法をとることの大切さと日頃からの災害ボランティアセンターの周知の必要性を感じました。右京区では大規模災害が発生した場合、右京区役所の要請を

受けて右京区社協が設置することになります。是非覚えておいていただければ幸いです。

災害ボランティアセンター

ボランティアと被災者をつなぐ役割を担います。具体的には、被災地からのニーズとボランティアのマッチングを行い、ボランティア活動が円滑に行われるよう調整します。



仙台市宮城野区災害ボランティアセンター

学区社協重点活動プラン策定! (23・24年度)

太 秦	学区民憲章の周知等、活動への住民理解を更にすすめて、見守り・防災の取組を充実させます。
南太秦	世代間の「絆」を大切に、あたたかい心で福祉の輪を広げます。
常磐野	幅広い世代が参加できる事業の実施等、社協の認知度を更に高めていきます。
安 井	ボランティア登録をした方が、実際に活動を行い継続していただけるよう図っていきます。
嵯峨野	嵯峨野学区防災マップ2011年度版を完成し、「災害時要援護者リスト・災害時安否確認マニュアル」を策定します。
山ノ内	社協活動の認知度を高めるため広報活動の強化と、地域ニーズに沿った福祉事業をすすめます。
西院第一	「ぬくもり委員会」の子ども達との交流を深め、小学生の福祉学習も取り入れたふれあい事業を実施します。
西院第二	支援の必要な人の把握をすすめるため、町内の福祉委員による見守り活動を活発にします。
梅 津	災害時に備えての、要配慮者の把握に取り組めます。
北梅津	障害のある人もない人も子どもから高齢者まで多くの方が交流できるイベントを実施します。
嵯 峨	男性の地域での居場所づくりを目的とし、「たろう事業」を中心とした社協事業への男性参加者を増やします。

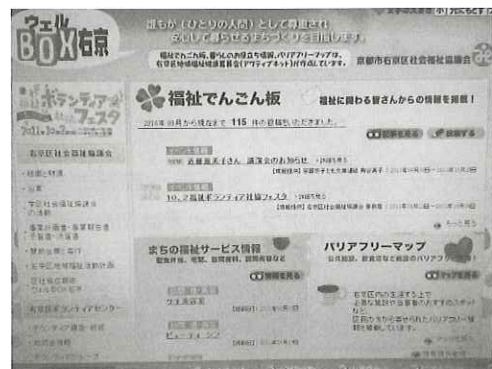
学区社協重点活動プランとは

各学区社協が2年間の中長期的な福祉活動の重点目標を策定し、右京区社協とともに取り組みを推進します。活動の推進には学区民の皆様のご協力が不可欠です。応援よろしくをお願いします。

広 沢	アンケート調査の結果に基づいて高齢者のニーズに対応した活動を実施します。
嵐 山	すこやかサロン事業について、広報を工夫する等多くの方が参加できるように努めます。
水 尾	高齢者が安心できる、地域住民との交流が図れる機会を作ります。
宕 陰	学区内の福祉施設に対する住民の見守りの意識を高めていきます。
花 園	誰もが安心して支えあえる介護予防・生活支援事業・在宅福祉の充実に努めます。
御 室	増加する高齢者の孤立を防ぐため、高齢者の実態把握等の取組をすすめます。
宇多野	高齢者を始めとした要配慮者に対する見守り体制の充実に努めます。
高 雄	様々な社協活動を通じ、高齢者の見守り活動をすすめていきます。
西京極	災害に備えて設置した「福祉災害ボランティア」の更なる充実と強化に取り組めます。
葛 野	参加(全員)できる案内、プランをひとり一人の手元まで届けます。
京 北	地域の社会福祉協議会を設置し、円滑な運営が出来るよう取り組みます。

福祉情報ホームページ「ウェルBOX右京」のご利用を! (www.ukyoku-syakyo.net)

右京区内の福祉情報が集まるホームページ「ウェルBOX右京」がリニューアルされて1年半、多くの区民の皆様にごアクセスしていただき、誠にありがとうございます。これからもイベント情報やボランティア募集、町の福祉情報、その他様々な皆様からの新鮮な福祉情報をもとに、サイトを充実していきますので、投稿お待ちしております!!



※このサイトは右京区地域福祉推進委員会（通称：アクティブネット）の福祉情報調査（区内のバリアフリー調査や福祉情報の収集等）をもとに立ち上げたものです。

平成22年度 賛助会員募集へのご協力ありがとうございました!

◆賛助会員制度◆

右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取り組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。賛助会員とは、区社協と学区社協の活動の趣旨・目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的に支援（賛助会費）いただく“地域福祉の応援団”です。皆様からの賛助会費は下記の通り福祉活動に使われます。平成23年度も賛助会員の募集活動を行いますのでご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

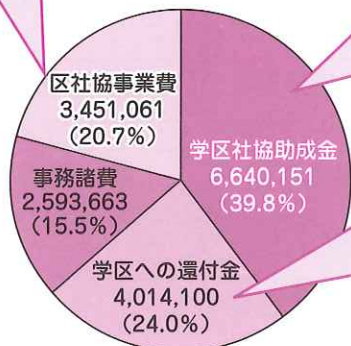
《平成22年度 賛助会費の使途内訳》

◆右京区社協が実施する主な事業

- ①地域福祉活動計画の推進
 - ②右京区社会福祉大会の開催
 - ③ボランティアセンター事業
 - ④福祉送迎サービス事業
 - ⑤子育て支援事業
 - ⑥福祉総合相談事業
 - ⑦各種ネットワーク事業
- etc...

◆学区社協が実施する主な事業

- ①在宅老人ふれあいのまちづくり事業
 - ②要配慮者台帳整備事業
 - ③福祉ニーズ調査事業
 - ④広報紙発行事業
 - ⑤ボランティアスクール
 - ⑥地域まつり・福祉大会
 - ⑦障がい者地域交流事業
 - ⑧介護者家族懇談会
 - ⑨子育て支援事業
 - ⑩寝具クリーニングサービス
 - ⑪配食サービス
 - ⑫活動基盤整備事業
 - ⑬学区社協重点活動プラン
- etc...



平成22年度賛助会費募集実績一覧

学区名	賛助会費 (円)
太 秦	2,399,100
南 太 秦	526,500
常 磐 野	808,000
安 井	909,200
嵯 峨 野	1,141,550
山 ノ 内	637,900
西 院 第 一	568,263
西 院 第 二	818,200
梅 津	737,100
北 梅 津	899,700
嵯 峨	1,523,800
広 沢	830,800
嵐 山	500,800
水 尾	17,000
宕 陰	70,000
花 園	667,650
御 室	1,035,602
宇 多 野	611,000
高 雄	479,600
西 京 極	957,210
葛 野	560,000
合 計	16,698,975

京都市うずまさ学園・京都市太秦知的障害者デイサービスセンター紹介!

右京区社協が運営する当施設は、たくさんのボランティアの方々に支えられ、活動しています。今回は、当施設でボランティア活動中の方の声を少しご紹介したいと思います。あなたも当施設でボランティアしてみませんか!

・加賀谷和美さん (活動場所：京都市うずまさ学園)

うずまさ学園の皆さんは、いつも笑顔の絶えない人達ばかりで、「こんにちは!」と最高の笑顔で迎えてもらえます。毎日の生活の中で皆さんが、作業やレクリエーションを通して新しいことを成し遂げた時の姿を見ると自分のことのようにうれしくなってきます。そんなパワー全開の皆さんが大好きです。

・H. Uさん (活動場所：京都市うずまさ学園)

私にとって、定期的なボランティアは初めての経験で、週一回のお手伝いにもかかわらず、訪ねるといつも名前を掛けられます。また丁寧な言葉づかいに、自身も日常を振り返り反省しております。利用者の皆さんは、手先の不器用な私に色々とお話をいただき、作業を共に会話を交えながら進めていると、時間も忘れ、一日が瞬く間に過ぎてしまいます。この楽しいひと時を、今後も大切にしていきたいと考えております。

・山林登さん (活動場所：京都市太秦知的障害者デイサービスセンター)

教育の中に喜びを与えている学園の方針のもと少しでも活動することが出来たか?と反省しています。ボランティアに参加する事が私の元気の源になっている事に感謝しております。

赤い羽根共同募金って何に使われるの？

A：地域の福祉活動に使われます。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が展開されています。右京区では例年嵐電嵐山駅付近で街頭募金活動を行っています。震災の影響もあってか参加者の皆さんの熱意を例年以上に感じることができました。共同募金は地域の福祉活動（写真参照）の大事な財源となっており、地域の福祉活動は区民の皆様からの貴重なご厚意なしには成り立たないと言っても過言ではありません。今後とも共同募金へのご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。



地域祭り・福祉大会
(山ノ内)



高齢者と児童の交流
(西京極)



災害に備えた学習会(嵯峨)



街頭募金活動(嵐山付近)

※写真の他にも、高齢者宅の寝具クリーニング、配食サービス事業、会食会、茶話会、子育てサロン事業、障がい者地域交流事業等、多岐にわたる福祉活動に幅広く使わせていただいています！

平成22年度 右京区社会福祉協議会事業・ 決算報告(概要)

例年取り組んでいる社会福祉大会の開催、助成金、様々な研修・講座などの開催による学区・団体の支援だけでなく、京北地域における今後の事業のあり方を「京北地域福祉ビジョン検討委員会」を開催し、検討していただいた結果、京北地域の社会福祉協議会設置に向けての協議を始めることができました。財務の面では、助成金制度の見直しなどの結果、収支差額が大幅に改善しましたが、まだまだ厳しい状況が続いております。引き続き改善に努めていきます。なお22年度の資金収支計算書(京北事務所含む)は右記のとおりです。ご参照ください。



【資金収支計算書】

(自)平成22年4月1日

(至)平成23年3月31日

一般会計				
經常活動による収支				
収入				
勘定科目	予算額	決算額	差異	
会費収入	18,702,000	18,703,975	△ 1,975	
寄附金収入	4,300,000	4,747,124	△ 447,124	
經常経費補助金収入	36,845,000	36,907,000	△ 62,000	
受託金収入	18,958,000	18,857,339	100,661	
事業収入	3,402,000	3,758,640	△ 356,640	
貸付事業等収入	50,000	0	50,000	
共同募金配分金収入	10,016,000	10,015,493	507	
雑収入	151,000	434,924	△ 283,924	
受取利息配当金収入	415,000	455,057	△ 40,057	
経理区分間繰入金収入	16,459,000	16,458,038	962	
会計単位間繰入金収入	0	0	0	
經常収入計①	109,298,000	110,337,590	△ 1,039,590	
支出				
人件費支出	50,826,000	49,091,828	1,734,172	
事務費支出	5,444,000	4,538,018	905,982	
事業費支出	12,220,000	11,483,594	736,406	
助成金支出	28,626,000	27,804,569	821,431	
負担金支出	110,000	102,700	7,300	
経理区分間繰入金支出	16,459,000	16,458,038	962	
經常支出計②	113,685,000	109,478,747	4,206,253	
經常活動資金収支差額③=①-②	△ 4,387,000	858,843	△ 5,245,843	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等寄附金収入	1,518,000	1,518,000	0	
固定資産売却収入	700,000	700,000	0	
施設整備等による収入④	2,218,000	2,218,000	0	
支出				
固定資産取得支出	1,518,000	1,518,000	0	
施設整備等による支出⑤	1,518,000	1,518,000	0	
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	700,000	700,000	0	
財務活動による収支				
収入				
財務活動による収入⑦	0	0	0	
支出				
積立預金支出	2,137,000	2,091,159	45,841	
財務活動による支出⑧	2,137,000	2,091,159	45,841	
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	△ 2,137,000	△ 2,091,159	△ 45,841	
予備費⑩	0	0	0	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	△ 5,824,000	△ 532,316	△ 5,291,684	
前期末支払資金残高⑫	14,823,000	34,512,515	△ 19,689,515	
当期末支払資金残高⑬+⑫	8,999,000	33,980,199	△ 24,981,199	

●Uネット～右京障害者ネットワーク～

右京区にある障害者施設でつくるネットワーク『U-ネット』では、障害者にも暮らしやすい地域づくりを目指し、様々な啓発活動に取り組んでいます。

<Uネット加盟施設>

京都希望の家、めだかの学校、みやこ西院作業所、きょうとWAKUWAKU座、てあとろ、じゅらく、やまぶき共同作業所、タイムワークサポートセンター、西大路共同作業所分室「雫」、京北やまぐにの郷、しゃくなげ共同作業所、NPO法人加音西京極作業所、うずまさ学園太秦知的障害者デイサービスセンター、NPO法人麗山風音、就労支援センターとも

●手作り産品販売・福祉情報展示会のお知らせ

Uネットでは福祉施設で作った製品の販売・福祉情報の展示を月1回程度開催しています。

またイオンモール京都ハナ3階「うきょうの福祉ひろば」（常設）で施設の紹介をしています。

是非、お立ち寄りください。

今後の開催予定

SANSA右京

平成23年12月22日(木)
平成24年 1月26日(木)
2月23日(木)

イオンモール京都ハナ店

平成23年11月30日(水)
平成24年 3月30日(金)

いずれも時間は10時～16時

※都合により日程を変更する場合があります。



●要約筆記講座 受講者募集中

聞こえない、聞こえにくい方のために、話の内容を書いて伝えるボランティア活動があります。

●日 時 平成24年1月28日(土) 午後1時半～3時半

●場 所 コミュニティ嵯峨野(JR嵯峨嵐山駅下車)

●対 象 要約筆記に関心のある方

●参加費 無料 ●定 員 20名(先着)

●申し込み・問い合わせ

右京区社協・右京区ボランティアセンター(TEL 865-8567)

●主 催 京都市中途失聴・難聴者協会右京支部

協 力 右京区社協・京都市要約筆記サークル「かたつむり」

●寄付金コーナー

貴重なご厚志ありがとうございました。
大切に使用させていただきます。

(平成22年11月～平成23年10月)

- ・吹田良忠 様
- ・(有)ワン太秦店 様
- ・株式会社 西村信天堂 様
- ・京建労右京支部 様
- ・蒲田 勝 様
- ・京都府遊技業協同組合 様
- ・全日本自動車産業労働組合 総連合会 様
- ・京北商工会他京北地域の皆様方多数

右京区の地域福祉発展のため、寄付のご協力をよろしくお願いします。

●京北雪かきボランティア募集

冬の積雪により、外出や近隣住民との交流もままならない…。そんな困りごとを除雪作業などを通して応援する「雪かきボランティア」、あなたもやってみませんか？

●開 催 日：平成24年2月11日(土)
午前8時～午後4時30分頃

●場 所：京北黒田地域
(参加者集合は、サンサ右京前)

●参加対象：高校生以上の健康な方
(18歳未満の方は、保護者の同意が必要です)

●募集定員：25名(サンサ右京からの送迎有り)

※定員になり次第受付終了とします。

●参 加 費：無料

●申込締切：平成24年1月27日(金)

※ 但し、積雪が少ない場合は中止とします。(中止の場合は2/7に連絡をします。)

※参加にあたっての持ち物等
詳細は、おって連絡します。

●問い合わせ

右京区社会福祉協議会 京北事務所

電 話 0771-52-0527

※12月1日から 075-852-0527 になります。

昨年度の雪かき
ボランティア



●ボランティア入門講座受講生募集！ 「始めよう！ボランティア」

☆ステップ1 講義「ボランティアって何だろう？」

日時：平成24年1月31日(火) 午後2時から

場所：右京合同福祉センター2階会議室

講師：久門 誠氏

(重度障害者通所介護じゅらく所長)

☆ステップ2 体験講座「施設で体験してみよう！」

下記のプログラムの中からお選びください。

①重度障害者通所介護じゅらくでの体験

平成24年2月7日(火) 午後2時～午後4時

②葛野老人デイサービスセンターでの体験

平成24年2月7日(火) 午後2時～午後4時

③葛野児童館での体験

平成24年2月9日(木) 午後3時～午後5時

≪参加費≫無料

≪申込み≫下記連絡先に電話にて受付

右京区社協 865-8567